

カリキュラムの特徴

1 経営学部のカリキュラム編成方針

経営学部のカリキュラムは、経営学部のミッション（学部学位授与方針）を実現するために、以下の方針に基づいて作成されています。

- (1) ミッションを実現する専門分野の能力を育成するために、学科ごとに2020年時点の社会からの要請と、玉川の教育理念に基づいてそれぞれの専攻分野を明示した「コースプログラム」を設置している。これによって、学生が自身の専攻分野を意識し、卒業後の職業・社会的な役割の自覚を可能にする。
- (2) ミッションに対応して、グローバルな環境で活躍できる語学力形成のために、英語教育重視のカリキュラムを実現。
- (3) 経営学部生が弱点とする高等学校科目を再学習できるよう、最小限必要なリカレント教育をカリキュラムに入れる。
- (4) 社会で活躍する社会人による講義科目を設置し、自身の学んだ内容を現実の視点から確認できるようにする。
- (5) 講義だけでなく、実習等による学習が可能な授業内容にする。そのことによって、学生が主体的に考える授業を実現する。

2 国際経営学科5コースの学位授与方針

(1) 人と組織のマネジメントコース

行動諸科学（心理学・社会学等）の視点から、組織の行動を分析する能力を持てるようになります。そして21世紀の知識社会で、組織的な知識創造の中心として活躍できる能力を持てるようになります。また、戦略的な思考力を持って、組織的に戦略の策定と実行を担当できる能力も持てるようになります。

具体的職業としては、企業のさまざまな部門の管理者で、戦略の策定と実行を志す人がこのコースに適しています。

(2) ベンチャー・中小企業（後継者）コース

中小企業およびベンチャー企業（成長に積極的な設立まもない小規模企業）の特徴を認識し、大企業にない強さと弱さを認識し、地域を担う企業人の能力を持てるようになります。そのために、戦略的思考力ならびに具体的な起業を行う能力を持てるようになります。

具体的な職業としては、中小企業の後継者、そして地域の経済を支える中小企業での管理者、あるいは新規事業の担当者を志す人が適しています。さらに起業（創業）を志す人にも適したコースです。

(3) 環境・CSRコース

企業での環境問題への対応、そして社会的責任の実現は21世紀のこれからの社会ではますます重要な課題になっていきます。本コースの履修では、これらの問題に積極的に対応できる能力を持てるようになります。この分野について、さまざまな業種の企業でも対応できる能力を持つことができるようになります。

具体的な職業としては、企業の環境部門担当者・管理者、CSR部門担当者・管理者を志す人が適しています。

 単位のしくみ
p.9

 履修の制限
p.32

(4) 会計・ファイナンスコース

企業財務を会計学ならびにファイナンスの視点から理解かつ実践できる能力が持てるようになります。会計学では国際会計基準（IFRS）の運用力とマネジメントにおける会計スキルを、ファイナンスでは企業活動を財務面から理解し、金融市場の基本原則や参加者の行動原理を理解できる能力が持てるようになります。

具体的な職業としては、公認会計士、税理士等の会計専門職、国税専門官、金融機関や企業の財務部門、企画部門の担当者を志す人が適しています。

(5) マーケティングコース

マーケティングは「売れ続けるための仕組づくり」を意図します。このコースでは世の中のニーズの探索から商品・ブランド開発、広告販促、営業販売、流通物流、コミュニケーション、アフターケア、関係づくり……等の企業のビジネス活動（市場創造活動）に関わる職務を遂行するための基礎的なマインドとスキルを持てるようになります。

具体的な職種としては、マーケター（企業のマーケティング担当者）、市場調査、営業販売、広告販促などのスタッフ。将来的には新規事業開発やマーケティングのコンサルタント、起業家をめざす人に適しています。

国際経営学科では、以下の5つのコースプログラムが設定されており、2年次終了時に5つのコースプログラムの中から専門分野のコースを選択することになります。ただし、3年次春 semester 終了時点で、専門分野のコース変更は可能です。

■国際経営学科 コースプログラムおよびコース別必修科目

	コース	2年次	3年次	4年次
専攻科目群	人と組織のマネジメントコース (20単位)	経営管理Ⅰ② 経営管理Ⅱ②	経営心理学② 経営組織論④ 人的資源管理Ⅰ② 人的資源管理Ⅱ② 知識経営② 現代経営戦略論④	
	ベンチャー・中小企業（後継者）コース (20単位)	中小企業論② ベンチャー企業論②	現代経営戦略論④ 経営管理Ⅰ② 経営管理Ⅱ② 中小企業政策② 起業プランニング② 会社法② 知的財産法②	
	環境・CSRコース (20単位)	環境経営② CSR経営②	生産管理② 品質管理② 経営管理Ⅰ② 経営管理Ⅱ② 現代経営戦略論④ 会社法② 知的財産法②	
	会計・ファイナンスコース (20単位)	財務会計② 基礎ファイナンス②	国際会計③ 原価計算③ 管理会計② コーポレートファイナンス③ パーソナル・ファイナンス③ ビジネス・リーダーシップ②	
	マーケティングコース (20単位)	マーケティング戦略② 消費者行動論②	マーケティング・リサーチ④ 販売管理・流通④ 製品開発② ブランド戦略② 広告・コミュニケーション② ビジネス・リーダーシップ②	

卒業要件

経営学部を卒業するためには、以下に示す図表に基づいて、卒業に必要な124単位を修得すると同時に、**累積GPA**（科目成績平均値）として、**2.00以上**を獲得しなければなりません。たとえ124単位以上を修得していても、**累積GPAが2.00未満**の場合には、卒業はできません。

GPAが重要視されるのは、単位を修得するだけでなく、みなさんに真の実力を身につけてもらいたい、言い換えれば、中身をともなった形で単位を修得してほしいと考えるからです。現代は以前にもまして、クオリティ（質）が問われる時代です。クオリティの高い学生を社会に送り出してこそ大学は評価されますし、同時にそうすることが、みなさんにとってはキャリアアップの第一歩になります。就職や進学に際し、高評価の成績表に優る武器はないと肝に銘じておいてください。

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修の6科目を修得していること。
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群4単位以上、社会科学科目群（「会計学」2単位・「経営学」2単位・「マーケティング」2単位は必修）6単位以上、自然科学科目群4単位以上、学際科目群2単位以上、英語表現科目群からは「ELF101～ELF402」で16単位以上を修得していること
- ③ 専門科目群（導入科目群・発展科目群・専攻科目群）の必修科目16単位および専攻科目群コース別必修20単位分を含め、発展科目群・専攻科目群の中から59単位以上を修得していること
- ④ 自由選択科目（1卒業要件で確認すること）として10単位以上修得していること
- ⑤ 上記①から④の要件を満たし、合計124単位以上を修得していること

1 卒業要件

○国際経営学科

科目群		必要単位 (GPA)	履修条件、および備考
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	7単位	必修科目のみ
	人文科学科目群	4単位	言語表現科目群ELF101～ELF402の中から必ず16単位以上修得すること。 人文科学科目群から4単位、社会科学科目群から6単位、自然科学科目群から4単位、学際科目群から2単位、計16単位以上を修得すること。 (注) 言語表現科目群の英語Ⅰ～Ⅲ、英語コミュニケーションの履修は不可。
	社会科学科目群	6単位	
	自然科学科目群	4単位	
	学際科目群	2単位	
言語表現科目群	16単位	32単位以上(上限40単位)	
専門科目群	導入科目群	16単位	全科目必修
	発展科目群	59単位以上	専攻科目群コース別必修20単位を含めて、発展科目群および専攻科目群の中から59単位以上修得すること。
	専攻科目群		
自由選択		10単位以上	(注) 参照
卒業に必要な単位数		124単位以上	
卒業に必要なGPA数値		累積GPA2.00以上	第8セメスター終了時に、卒業に必要な124単位を満たしていても、累積GPAが2.00未満の場合は、最短1セメスター卒業延期となる。

(注) 自由選択科目の中には、以下に示す科目を含めることが可能です。

- ① 玉川の教育・FYE科目群の中の選択科目
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目（言語表現科目群、人文科学科目群、社会科学科目群、自然科学科目群、学際科目群）の中で、必要単位数を超えた科目（最大8単位）
- ③ 自学科で必要単位数を超えた余剰単位科目
- ④ 他学部・他学科科目
- ⑤ 他大学との単位互換科目

2 卒業延期の場合の卒業要件

卒業延期となった場合には、第9セメスター以降、以下の条件を満たしたときに卒業となります。ただし、履修下限は2単位、履修上限は16単位です。

卒業に必要な124単位以上を修得したうえで、累積GPAが2.00以上となった場合

履修条件と学習継続条件

履修にあたっては、各セメスターで要求される履修条件や学習継続条件を満たさなければなりません。セメスター毎に履修条件や学習継続条件が設定されているのは、節目にチェックすることによって、みなさんの学習のクオリティ（質）を保てると考えているからです。履修条件や学習継続条件に抵触した場合、「注意」や「警告」が行われます。



履修アドバイス、履修条件と学習継続条件の抵触に関しては、以下の図表1～3を参考にしてください。

1 履修アドバイス、履修条件（注意）および学習継続条件（警告）について

指導の種類	担当教員	内 容
アカデミック・アドヴァイス	担任 (教務担当教員) 教務主任	A：日常のアカデミック・アドヴァイス ①履修相談全般（履修方法、履修科目について） ②履修計画に関するアドヴァイス ③履修状況の確認・注意（セメスター修得単位数、累積単位数、累積GPA数値等） ④履修取り消しに関するアドヴァイス ⑤学習方法に関するアドヴァイス B：注意指導、警告指導の際のアカデミック・アドヴァイス ①進級、卒業に向けての累積単位数、およびGPA数値の確認 ②学習方法、学習姿勢に関するアドヴァイス
注意	担任 (教務担当教員) 教務主任	各セメスターで累積修得単位数が規定の単位数を下回った場合、あるいは、 修得科目の 累積GPAが2.20未満の場合に「注意」を行う。また、進捗チェックに抵触した場合、および卒業不可の場合にも「注意」を行う（以下の2 履修条件と学習継続条件の表参照）
警告	教務担当教員 教務主任	学習継続条件のページ（p.24）を参照 （以下の2 履修条件と学習継続条件の表参照）

2 履修条件と学習継続条件

	履修条件		学習継続条件
	(1)セメスター終了時の累積修得単位数が、下記の単位数未満の学生	(2)累積GPAが下記の値未満の学生	警告の対象者
第1セメスター	15	2.20	学習継続条件のページ (p.24) 参照
第2セメスター	32		
第3セメスター	47		
第4セメスター	※62		
第5セメスター	78		
第6セメスター	93		
第7セメスター	109		
第8セメスター	卒業不可能な学生		
卒業延期の場合の卒業要件	卒業に必要な124単位以上を修得したうえで、累積GPAが2.00以上となった場合、卒業可		

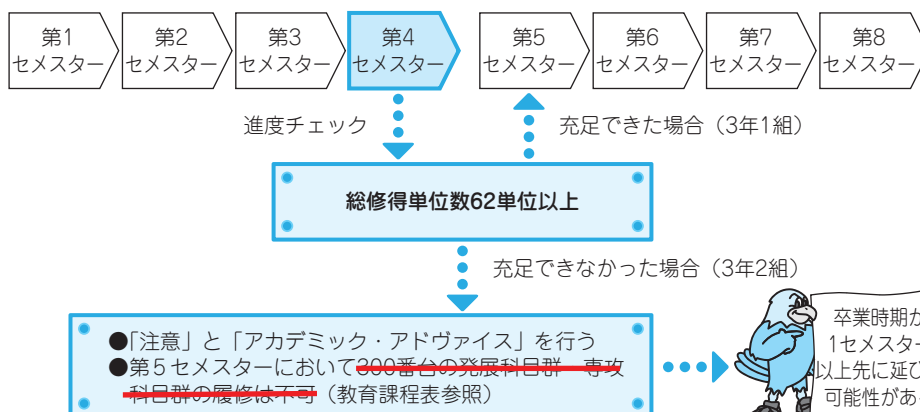
※第4セメスター終了時まで、総修得単位数（累積単位数）が62単位未満の学生は、3年2組の所属となり、~~総修得単位数が62単位以上になるまで科目番号が300番台の発展科目群・専攻科目群の履修はできません~~（教育課程表参照）。

~~その場合、卒業の時期が1セメスター先に延びる可能性があります~~（図3参照）。

また、単位修得状況により

第5セメスターにおいて「プロジェクトセミナー」を履修することができません

3 第4セメスター（2年次）終了時における進捗チェック



「プロジェクトセミナー」は履修不可

履修上の留意事項

1 履修パターン表を使った履修登録科目

1年次の導入科目群の必修科目、2年次の導入科目群の必修科目は、各自履修パターン表（履修ガイダンス時に配布）に従って履修登録をすることになります。

2 ELF(English as a Lingua Franca)の履修について

ELFは、4月初めに実施されるPlacement Test（クラス分け試験）の結果に基づいてクラスが編成されます。Placement Testの結果発表に従って、指定されたクラスの履修登録を行うこととなります。ELF（各4単位）は、習熟度によってELF101、ELF102、ELF201、ELF202、ELF301、ELF302、ELF401、ELF402の8段階のレベルに分かれています。PlacementTestの結果によっては、履修するELFのレベルが異なります。ELF101から履修がスタートする学生もいれば、ELF201から履修がスタートする学生もいます。

国際経営学科では、ELF101～ELF402の8科目中4科目が必修科目になります。つまり、どのELFのレベルからスタートしても16単位以上修得することが義務づけられています。また、ELFは先行履修科目です。先行履修とは、例えばELF101の単位修得が終了しないと次のレベルのELF102の履修ができないことを意味します。ELF201から履修がスタートする場合は、ELF201の単位修得が終了しないと次のレベルのELF202の履修ができないことを意味します（先行履修科目制度）。

3 抽選科目

履修登録者数が教室の収容人数を超えた場合、抽選となる場合があります。もしも抽選にもれた場合には、教務担当教員の指示に従って履修登録の訂正をしてください。

4 変則的に履修登録を行う科目について

以下の科目に関しては、履修登録の方法が異なります。

	科目群	科目名	履修登録方法
国際経営学科	発展科目	インターンシップA(2単位)	これらの科目は、主に夏期休暇中、および春期休暇中に開講されるため、セメスターの履修上限外の科目です。履修希望者は、セメスターの履修上限枠を超えて履修することができます。夏期休暇中に実施される場合は春セメスター中に、春期休暇中に実施される場合は秋セメスター中に履修者募集およびガイダンスが行われます。履修許可が出た学生は、科目担当教員の指示に従って下さい。 これらの科目履修にあたっては、学部が定める一定の条件の充足および事前、事後の研修への参加が義務づけられています。 なお、単位は次のセメスターで認定されます。
		インターンシップB(1単位)	

5 海外留学制度(SAEプログラム)について

経営学部では原則として2年次以降、海外提携大学への半年間の留学が可能です。1年間の留学については、留学の時期により、可能な場合もあります。1年間の留学を希望する場合は、必ず教務担当教員に相談して下さい。ただし、応募するにはTOEFL等の規定を満たさなければいけない大学もあります。

海外の提携大学に留学し、単位を修得できた場合には、修得単位の中から本学のカリキュラムに対応する科目を、各セメスター16単位を上限に本学の卒業必要単位に充当させることができます。

なお、留学先で修得した単位が、科目の性質上本学の単位として認定されない場合もあります。

6 履修登録、および履修科目に関する質問がある場合

履修登録や履修科目に関して、質問がある場合には、下記の「質問内容」に関する表を参照の上、次の質問方法を利用してください。

■質問方法

- (1) 新入生ガイダンスや履修登録期間における「履修相談」の時間を利用する
- (2) 教員に直接面会して質問する
- (3) 教員に電子メールを利用して質問する

■質問内容

	確認しておくべきこと	質問先
履修登録方法に関すること	「Web履修登録操作ガイド(マニュアル)」	担任・教務担当教員 教務主任
履修科目に関すること	「講義要覧」「シラバス」	担任・教務担当教員 教務主任
個々の授業内容(使用テキスト、課題、成績評価方法等)に関すること	「シラバス」	授業担当教員

(注)「Web履修登録操作ガイド(マニュアル)」に関しては、UNITAMAの「履修に関するお知らせ」を参照。